

①

1 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

会話という言葉があり、会話にとても似た言葉に、対話という言葉があります。

よく似ていて、おなじように見える言葉ですが、たとえば英会話と言っても英対話とは言わない。また逆に、たとえば日米対話というような言い方をするような場合、対話を会話と言い代えることはできない。一見おなじように見えて、意味の方向はむしろ逆を向いていると言っていいのが、会話と対話です。

コミュニケーションの手段が電話を核として多様になったいま、さまざまなレベルで、会話のかたちはずっと豊富になりました。A、対話はどうか。会話のかたちが思いがけないほど豊富になったそのぶん、わたしたちのあいだの対話のありようというのは、むしろ貧しくなったのではないかと気づかわれます。

そういうときに思いだしたい一冊の本があります。二十世紀という時代が始まる明治三十年ごろ、老いてなお気さかな勝海舟が、語り尽くした『氷川清話』です（講談社学術文庫ほか）。

『氷川清話』は、勝海舟が話した言葉を聞き書きした本ですが、勝海舟の語る言葉は当時たいへんな人氣で、勝海舟のもとに訪ねた記者の手で、いろいろな新聞が争ってその聞き書きを載せた。話しぶりは自由闊達ですが、それは会話の記録ではありません。勝海舟の一人語りの本ですが、それは対話の記録です。語っているのは勝海舟一人ですが、勝海舟はあたかも百年後の今日にむかって、どこまでもこちら側にまっすぐ話しかけるようにして、とても直截な語り方で話している。

読みかえすたびに惹きつけられる本ですが、そのなかで、勝海舟はしばしば談判について語り、明治維新から日本の新しい国のかたちができてゆくまでのあいだに非常に重要だった方策として、談判というものを挙げています。

談判というのは、いろいろなことを始末したり、おおよその事を取り決めたりするときに、論じ合い、談じ合って交渉すること。B、対話することです。いまでは「談判」という言葉そのものもだんだんもちいられなくなり、人と人が交わす言葉のあり方にのこっているのは会話ばかりで、対話、談判という話し方はいつか遠ざけられるままになってしまったように思えます。

そうであって、のぞましくない事件などが生ずるたびにきまって、シテキされるのが、対話の不在、あるいは対話の不足です。しかしそれは、日常ふだんに対話という考え方がうすく、たがいに向き合って問題を差しだしあって話すという習慣を欠いているという状況が、事あるたびに、ロシュツしてしまうためではないでしょうか。

会話といっても、多くは、言葉を使い捨てにするお喋りを、いまは会話と言っていることが多いように思います。たがいに向き合って、違ったものの見方をかさねてみる代わりに、考え方が違えば同席せず、目が合えば衝突、喧嘩という、格好になりがちなのは、結局、対話という考え方、あるいは勝海舟の言う談判の考え方こそ、この百年、時の過ぎゆくまに、この国が失いつづけてきた大事なものではなかったか、と案じるのです。

C、勝海舟はふりかえて、談判というのはたがいに「少しの傲慢の風なく、同席する」こと、そうしてたがいに「赤心を披く」ことだったとしています。すなわち、「野暮」を言わないで、相手に対する「敬礼を失わない」ことが、談判の作法だった。会話が会話を楽しむことだとすれば、対話、談判というのは、問題の引き受け方というか、心の決め方というふうに言っていいかもしれません。

いまは、問題は引き受けたくない、心は決めたくないという、何でもかんでも先延ばしにして疑われない時代になっています。たがいのあいだに、言葉の破片はたくさん飛び散ってはいるけれども、まかりとおるのは一人勝手と無愛想だけで、元気はなく、言葉が考えを伝える力をもつことがどんどん難しくなってゆくような状況が、逆に広まってきている、ということを考えます。

2 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

「自由である」ことの意味はそう単純なものではなさそうです。確かに、特定の選択肢を、強制されるのではなく、さまざまな選択肢の中から自分の判断で選択できることの方が、自分ににとって、より満足のいく結果を実現してくれるように思います。そういった意味では、誰にとっても、より自由である状態の方が望ましく思われます。

たとえば登校時の服装についていうと、学校から指定された制服ではなく、自分の判断で決めた服を着ていく方がお洒落を楽しむことができるし、服装に、より関心をもつことができそうです。そして大切なのは、服装を通じて、ほかの誰かとは違う自分を表現することも可能になるという点です。もちろん、こうしたことは学校を離れた社会ではごく当たり前に行われており、本来取り立てて問題にされることでもないように思われます。

いずれにしても、自分をその他大勢の中に、マイボツさせてしまうのではなく、自分が自分であるためには、「自由である」ことは欠くことのできない前提だと思われています。だからこそ、私たちは自由を、私たちの社会においてもっとも基本的な価値の一つとして、尊重してきたともいえるでしょう。

A、「自由である」ことがこのようなのだとすれば、私たちは「自由である」ことによって、いやおうなく自分というものを他者に評価されてしまうといえるかもしれません。たとえば、制服を着ているときであれば、服装によってその人の個性を判断しようなどという人はいないでしょう。B、私服であれば、そうする人が出てきても、フシギではありません。

服装なんかで判断されたくないと思っていたとしても、そして服装にはできるだけ無頓着でいたいと思っても、それが私服である限り（自分の判断で選んだ服装である限り）、他人が服装でその人となりを判断しようとするのを妨げることはできません。いわば、私たちは「自由である」ことによって、いやおうなく他者の視線に晒されることになるのです。

このことを前提にして、自分が完全に「自由である」状態になったとき、いったい何が起きるのかを想像してみましょう。

私にはこれだけは、ユズれない、というものがあって、それについては、どうしても自分の主張を押し通したい、という場合があるかもしれません。しかし、すべてがすべて、そうであるわけではありません。中には、さして重要でないものも混じっていることでしょう。

そうすると、完全に「自由である」ならば、自分では、本当はどうでもいいと考えているようなことについても、自分で判断し、行動することが必要になりそうです。けれども、実際にそんなことができるのでしょうか。

C、すべての他者が私の一挙手一投足に注目し、私という人間を品定めているわけではないでしょう。しかし、誰がどこで私のことを、しかも私の思いがけない部分について評価しているか、わかりません。

そんなとき、私はそのような部分についても、適切に自分を表現することなどできるのでしょうか。あるいは仮にできるとしても、本当はどうでもいいと思っているようなことにまでいちいち自分で判断しなければいけないとき、私たちはそこに息苦しさを感ずることはないのでしょうか。

このように考えてみると、「自由である」ことは、私たちにとってつねに解放を意味するものではない可能性があります。ときには、むしろ「自由である」ことによって、自由でなかったときには異質の息苦しさを感ずることがありえるのです。

（数土直紀『自由という服従』）

②

会話を楽しむことには巧みになった。だが、対話を活かすことが足らなくなった。あるいは、できなくなった。けれども、対話のないところ、談判のないところ、『氷川清話』の主人の言葉xで言うと、「時と場合に応じてそれぞれのA」がでてこなくなってしまう。そしてそのことが、いまのわたしたちのあり方を脆くしています。

『氷川清話』から百年、あらためて考えたいのは、対話のもつちからです。

（長田弘『なつかしい時間』）

問1 下線部a～eにおいて、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 空欄Aには「物事に注意深く考えをめぐらし、判断すること」という意味の四字熟語が入る。次の①～④から選び、番号で答えよ。

① 縦横無尽 ② 馬耳東風 ③ 思慮分別 ④ 花鳥風月

問3 空欄A、B、Cに当てはまる接続詞の組み合わせが正しいものを、次の①～④から選び、番号で答えよ。

① A…しかし B…また C…そこで
② A…けれども B…つまり C…たとえば
③ A…だが B…しかるに C…でも
④ A…それから B…ただ C…なぜならば

問4 下線部Xの「で」の文法的用法が同じものを、次の①～④から選び、番号で答えよ。

① スポーツ用品店でグローブを購入した。
② 彼女は班長にもっともふさわしい人物である。
③ 鳥の声は穏やかでよく響き渡る。
④ 包装紙のイラストは色鉛筆で描いた。

問5 下線部Y「言葉を使い捨てにするお喋り」は比喻表現である。下記のA・Iに入る言葉を文中から抜き出しなさい。ただしAは5字、Iは7字である。

現代のコミュニケーションにおいて、互いの間で交わされるのはAだと述べ、この表現によって筆者は、言葉が持つIを十分に活用できなくなってきたことを述べている。

問1 下線部a～eにおいて、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部A「自分が自分である」とあるが、同じ意味の文言を本文中から探し、解答欄の形式に従って「～こと」に続くよう16字で答えよ。

問3 空欄A、B、Cにあてはまる接続詞の組み合わせが正しいものを次の①～④から選び、番号で答えよ。

① A…しかし B…ところが C…もちろん
② A…ならびに B…よって C…さらには
③ A…かえて B…もしくは C…なぜなら
④ A…しかし B…いわば C…それでこそ

問4 下線部I「個性」の対義語は何か。次の①～④から選び、番号で答えよ。

① 帰納的 ② 画一的 ③ 一面的 ④ 具象的

問5 下線部ウ「自由である」ことによって、自由でなかったときには異質の息苦しさを感ずる」とあるが、このような状態になるのはなぜですか。本文中の言葉を用いて、句読点も含めて50字以内で説明せよ。

③

④

⑤

3 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

9583 発。いつでも使える体制にあるか、配備できる状態にある「現役核弾頭」が今年、地球上にこれだけある。広島、長崎の惨禍から 79 年。「世界では核軍拡が進んでいる」。弾頭数を推計した長崎大学核兵器廃絶研究センターは、^a警鐘を鳴らす。老朽化して解体を待つものを含む核弾頭の総数は過去 10 年以上、減り続けている。だが「現役」は 2018 年から増加傾向に転じ、300 発以上増えたという。

核軍縮に重い責任を負う核保有国が、核戦争のリスクを高める当事者になる。そんな嘆かわしい現実も広がる。ウクライナ侵略を続けるロシアのプーチン大統領は「なぜか西側は、ロシアが決してこれ（核兵器）を使わないと考えている」と挑発する。

突出したペースで核戦力を増強するのが中国だ。18 年の 240 発から 500 発に「現役」を倍増させた。米国も対抗する。バイデン政権は 2 年前、「核の先制不使用」は核政策の指針に盛り込むことを見送った。米高官は今年 6 月、「数年内に配備を増やす局面が来るかもしれない」と述べた。

核の、ウンパン手段となるミサイルについては、菌止め策を欠いたまま核保有各国が開発や配備にしのぎを削る。相互不信や緊張が高まるほど、ミスや誤算のリスクは増す。はびこる偽情報、人間が制御しきれない人工知能（AI）の導入が、不確実性に拍車をかける。

この春、米下院議員がガザ情報をめぐり「長崎や広島のようにすべきだ。早く終わらせよう」と、核使用を促すかのような発言をしたと報じられた。核兵器は使われてはならない——。この「理性のふた」が外れかかっているとすればゆゆしき状況だ。「核戦争のリスクはこの数十年で最高レベル」と国連のグテーレス事務総長はいう。今こそ世界が共有すべき危機感にはかなるまい。

核を持つことで相手国に攻撃を思いとどまらせる。核保有国と、その ^aに守られる国々は、この「核抑止論」で核戦力を正当化してきた。だがロシアのウクライナ侵攻は、その落とし穴もあぶりだした。プーチン政権は国際社会を威圧し、違法な侵略を止めさせないための「道具」として、核を利用した。

核不拡散条約（NPT）が米ロ英仏中 5 カ国のみに核保有を認めたのは、それ以上の拡散を防ぐとともに、核軍縮への取り組みを定めているためだ。

しかし、その義務は果たされていない。保有国の誠意と理性を前提にした NPT 体制が、根本的な欠陥を抱えているのは明らかだ。ひとたび核が使われれば、人類の生存そのものが脅かされる。3 年前に、ハッコウした核兵器禁止条約は、そんな危機意識から生まれた。

「国家の安全保障」から「人類の安全保障」へ。軍事・安保にとらわれず、社会、経済、環境、人権など多角的な観点から核問題をとらえ直す発想と実践が、今ほど求められている時はない。安全環境が厳しさを増す中でいくら核兵器の禁止を唱えても、実効性はあるのか、といふかる声がある。

だが、これまで核禁条約に署名した国・地域は国連加盟国の約半数に及ぶ。近年、国際社会で存在感を増す新興・途上国が多く名を連ねる。NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」国際運営委員の川崎哲さんは「^aNPT への信頼が崩れる中で、^bは核兵器を許さない法的根拠となっている」と語る。

いま必要なのは、危機への菌止めを強くすることだ。加盟国や市民社会の声で核禁条約参加を各国に促し、ほころびが目立つ NPT 体制を補完していくべきだろう。

「核兵器のない世界」を掲げる岸田政権は昨年、主要 7 カ国（G7）サミットを広島で開催した。だが、目立った成果は見えない。それどころか「核の傘」を含む米国の戦力による「拡大抑止」強化を打ち出した。アジアの核軍拡競争を加速させかねない対応だ。

今、日本がなすべきは、保有国に核の惨禍を説き、軍縮を促す外交だ。核実験などによる被害者の援助や汚染された環境の、修復も、核禁条約の重要な使命だ。知見がある日本の貢献が期待されている。最低限でもオブザーバー参加し、唯一の戦争被爆国としての責任を果たしてもらいたい。

⑥

今年^aは米国の水爆実験で日本漁船も被曝した「ビキニ事件」から 70 年。なおも続く核被害に注目が集まった。日本の若い世代も世界の反核運動と連帯を広げる。4 月に発足した「核兵器をなくす日本キャンペーン」事務局の浅野英男さん（27）は話す。「私たちはいかなる未来を作りたいのか。そのためにどんな選択をするのかが問われている」。その答えを世代が、レンケイして追求したい。

（朝日新聞 2024/08/06）

問 1 下線部 a ～ e において、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問 2 空欄 ^aに入る適切な言葉を次の①～④から選び、番号で答えよ。

① 傘 ② 盾 ③ 壁 ④ 塀

問 3 核リスクの高まりにあらがうために、日本がなすべきことは何か、本文から 25 字以内で抜き出せ。

問 4 下線部 A 「NPT」とあるが、それについて以下の問いに答えよ。

① NPT とはどのようなものか説明せよ。
② NPT の体制を補完するために取るべき行動について説明せよ。

問 5 空欄 ^aに入る適切な言葉を次の①～④から選び、番号で答えよ。

① ビキニ事件 ② 核不拡散条約 ③ 核禁条約 ④ 反核運動

基礎学力テスト

1

問1 a

かく

 b

指摘

 c

露出

 d

かつこう

 e

さほう

問2 ア

③

問3

②

問4

④

問5 ア

言	葉	の	破	片
---	---	---	---	---

 イ

考	え	を	伝	え	る	力
---	---	---	---	---	---	---

2

問1 a

きょうせい

 b

埋没

 c

そんちょう

 d

不思議

 e

譲

問2

ほ	か	の	誰	か	と	は	違	う	自	分	を	表	現	す	る
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問3

①

 問4

②

問5

他	者	か	ら	の	評	価	を	意	識	し	て	、	重	要	で	な	い	と	思	う	部	分	に	つ
い	て	も	適	切	に	判	断	し	表	現	し	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	か	ら	。		

3

問1 a

けいしょう

 b

運搬

 c

発効

 d

しゅうふく

 e

連携

問2

①

問3 日本がなすべきことは、

保	有	国	に	核	の	惨	禍	を	説	き	、	軍	縮	を	促	す	外	交	で	あ	る	。		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

問4 ①

核の拡散を防ぎ、核軍縮への取り組みを定めており、米ロ英仏中の5カ国のみに核保有を認めた条約である。

②

加盟国や市民社会の声で核禁条約参加を各国に促し、危機への歯止めを強くする行動が求められる。

問5

③
